

『携帯電話分野における意見交換会』

- 説明資料 -

2021年 2月22日
ソフトバンク株式会社

1. **通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム**
2. **期間拘束・自動更新付契約**
3. **SIMロック**
4. **MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等**
5. **新たな料金プランにおける公平性の確保について**
6. **消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて**

1. **通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム**
2. 期間拘束・自動更新付契約
3. SIMロック
4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等
5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について
6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて

1. 通信契約と端末販売の分離

- 改正電気通信事業法施行による通信契約・端末販売への影響について
- 改正電気通信事業法施行後、端末を所有している通信契約者の獲得のためにどのような取組を行っているか。

【ご回答】

- 改正法施行直後は通信契約数・端末販売数ともに減少しましたが、現在は改正法施行前とほぼ同等水準に戻っています。
- 改正法施行以前から、端末購入者への通信料割引の無い、「端末分離プラン」を導入しています。
(SoftBankブランド：2018年9月 Y!mobileブランド：2019年10月)
- 各種販促施策は端末購入の有無に関係なく対象にしているケースが大半です。
(例) 学割など

1. 通信契約と端末販売の分離

- 改正電気通信事業法施行後、非回線契約者に端末を購入してもらうためにどのような取組を行っているか。
- 端末購入サポートプログラムの導入の目的
- 端末購入サポートプログラムを利用する非回線契約者獲得のためにどのような取組を行っているか。

【ご回答】

- お客さまが端末を購入しやすくすることを目的として、端末購入サポートプログラム「半額サポート」を導入しました。
- 「半額サポート」は当社回線契約者のみを対象としていましたが、改正法施行後は非回線契約者も対象とした「トクするサポート+」を提供しています。
- ウェブサイトや店頭ポスター、各種POP等で「機種購入のみの方も対象」等と明記し、非回線契約者でも当該プログラムを利用可能である旨周知しています。

<ウェブサイト>

最新スマホも超——おトク

トクするサポート+

プログラム条件

適用条件

対象機種を4回分割で購入すること。

ソフトバンクの回線契約がなくてもご購入いただけます

機種購入のみの方も対象/

最新スマホも超——おトク

トクするサポート+

<店頭ポスター/POP>

最新スマホも超——おトク

機種購入のみのお客さまもご利用できます。

最新スマホも超——おトク

トクするサポート+

25ヵ月分にごソフトバンクでの回収・買い替えて最大24回分のお支払いが不要に

スマホ購入 トクするサポート+

お支払いの残額代金

1. 通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム
- 2. 期間拘束・自動更新付契約**
3. SIMロック
4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等
5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について
6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて

2. 期間拘束・自動更新付契約

- 改正電気通信事業法施行日前に締結された改正電気通信事業法に適合しない期間拘束契約（以下「既往契約」という。）から改正電気通信事業法に適合する期間拘束契約（以下「改正電気通信事業法適合契約」という。）への移行促進のために、既往契約者に対して、これまでどのような取組を行ってきたか。また、現時点において、どのような取組を行っているか。

【ご回答】

- 2019年9月に導入した改正法に適合したプランでは期間拘束は完全撤廃しています。
- 改正法適合プランへの移行促進のために以下各種取り組みを実施しています。
 - － 既往契約から改正法適合プラン移行時の契約解除料免除
 - － カタログ、CM、ウェブ、LINE等による周知
 - － 店頭での最適料金案内 等
- また、2021年3月にはブランド間移行時の契約解除料も無料にします。



※今後の支払い額や料金プラン等をご案内（データ量・料金シミュレーター）

1. 通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム
2. 期間拘束・自動更新付契約
3. **SIMロック**
4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等
5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について
6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて

- SIMロックの必要性・合理性
- なぜ、消費者にSIMロック解除手続の負担や、端末購入時以外の店頭でのSIMロックの解除を行う場合における手数料負担をかけているのか。

【ご回答】

- SIMロックは端末の盗難防止や貸し倒れ抑止等の観点で有効な手段と考えています。
- SIMロック解除を希望されるお客さまは、ウェブチャネルでは無料でいつでも容易にSIMロック解除の手続きを行うことが可能です。店頭においては、一定の条件を満たし端末購入時に申出をいただければ無料で解除を行っています。
- 店頭におけるSIMロック解除の手数料については、通常解除手続きには作業コストが発生するため、その対価として徴収しているものですが、上述の通り、無料でいつでもSIMロック解除可能な手段もあることから、お客さまの手間も負担も生じるものではないと考えます。
- なお、昨今の総務省会合「スイッチング円滑化タスクフォース」でのSIMロックに関する議論を踏まえた対応については、弊社としても可能な範囲で検討している状況であり、一定の条件を満たせば購入者の申出無しにSIMロックを解除する方向で検討中です。

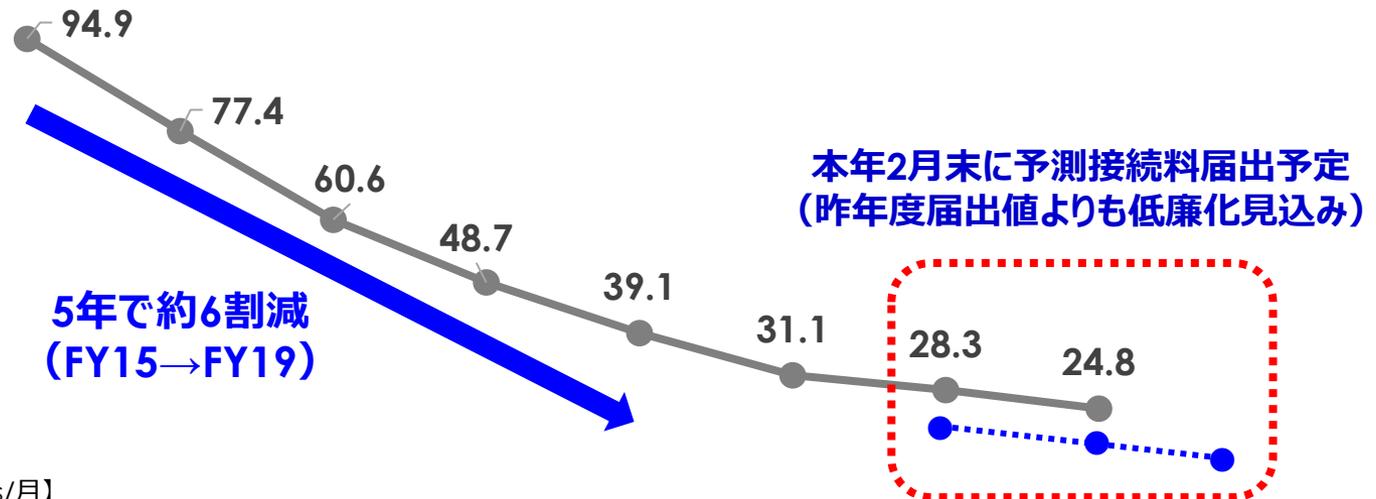
1. 通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム
2. 期間拘束・自動更新付契約
3. SIMロック
4. **MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等**
5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について
6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて

4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等

● 接続料の予見可能性の向上及び引下げに向けた取組

【ご回答】

- 昨年度から将来原価方式を採用し、接続料の予見可能性は大幅に向上しているものと考えます。
- 当社のデータ接続料は、下図の通り、毎年大幅な低廉化を実現していますが、本年2月末に届出予定のFY21～23の予測接続料については、今後の低廉な料金プランの導入や5GSAサービスの導入等の市場環境の変化や影響等を考慮し算定した結果、昨年度の予測値から更に低廉化した水準になる見込みです。



【万円・10Mbps/月】

1. 通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム
2. 期間拘束・自動更新付契約
3. SIMロック
4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等
5. **新たな料金プランにおける公平性の確保について**
6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて

5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について

● 新たな料金プランの概要

【ご回答】

- 2021年3月より、新たなオンライン専用ブランド「LINEMO」の提供を開始します。
- 既存の「SoftBank」、「Y!mobile」ブランドにおいても、料金/データ容量等を刷新し、新たな料金サービスを提供します。

LINEMO

3月17日 スタート

シンプルな料金

ずっと
20GB

2,480 基本料
円/月

オンライン専用

eSIM対応

LINEシナジー

トーク

音声通話/
ビデオ通話

LINEスタンプ
プレミアム ベーシックコース

5Gネットワーク

UI/UX

ソフトバンク
同一ネットワーク
同一品質

LINEから
即日開通
安心サポート

SoftBank

メリハリ無制限

無制限

ずっと

6,580 基本料
円/月

3月17日 開始

Y!mobile

シンプルS	<p>3GB</p> <p>ずっと</p> <p>1,980 <small>基本料 円/月</small></p>
シンプルM	<p>15GB</p> <p>ずっと</p> <p>2,980 <small>基本料 円/月</small></p>
シンプルL	<p>25GB</p> <p>ずっと</p> <p>3,780 <small>基本料 円/月</small></p>

2月18日 開始

- 競争政策の観点から、MVNOとの関係において公平性（イコルフットイング）は担保されているか。

【ご回答】

- 前述のとおり、昨年度から将来原価方式を採用し、FY22までの予測接続料については昨年度公表済みであり、FY21～23までの接続料については本年2月末に公表予定です。従って、接続料観点においては予見性があり、MVNOにおいても将来的な見込を踏まえた料金設計は可能であることから公平性は担保されていると考えます。
- また、総務省「接続料の算定等に関する研究会（第41回）」において、利用者料金と接続料等の検証が行われておりますが、MVNOにおいては、現時点でもMNOと同等レベルのサービスを提供可能であり、実際に一部MVNOにおいては、MNOの新プランの料金水準を下回る新たなプランも発表されています。今後の予測接続料（FY21～23）水準等からも、より競争可能な接続料水準や環境になることが見込まれるため、公平性は担保されていると考えます。

1. 通信契約と端末販売の分離 / 将来的な端末の下取りや同じプログラムの加入等を前提としたプログラム
2. 期間拘束・自動更新付契約
3. SIMロック
4. MVNOの競争環境を確保するための制度上の対応等
5. 新たな料金プランにおける公平性の確保について
6. **消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備に向けて**

6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備

- 消費者が適切な料金プランを選択できるようにするための取組及びその効果

【ご回答】

- 店頭での料金シミュレータ等のツールを用いた最適料金案内（今後の支払い額や料金プラン等を案内）の実施やスマホ料金相談所の設置により、お客さまが適切な料金プランを選択していただけるように努めており、多くのお客さまにご利用いただいています。引き続き、お客さまにとってよりわかりやすく適切なご案内を行ってまいります。



※2021年1月～導入したスマホ料金相談所

6. 消費者が最適な料金プランを選びやすい環境の整備

- ホームページやパンフレットなどの広告表示を分かりやすくするために、具体的にどのような工夫をしているか。

【ご回答】

- 広告表示については、消費者庁からの指摘やお客さまからのご意見等を踏まえ、文字の大きさ・色、打消し表示の位置、背景色、脚注の量等を誤認防止の観点から十分に配慮しています。
- 例えば、固定通信等とのセット販売における割引等（一部の利用者にも適用される通信料金）、利用者の誤認を招く可能性があるものについては、最安料金だけを表示するのではなく、最大でいくらかかるか（定価）をきちんと表示した上で割引条件を明示する、固定通信にかかる料金の例を示すなど、誤認のない内容とするなど継続的に見直しを図っています。